

おすすめの本

BOOK REVIEW

一般向け



蝶のゆくへ

葉室 麟/著
集英社 2018.8

北村透谷や島崎藤村らが教師を務める明治女学校に学ぶ星りょう(後の相馬黒光)は、自分らしく生きたいと願い、葛藤する新時代の女性たちと心を通わせていき…。歴史長編。『小説すばる』連載を単行本化。

●特集展示(一般)「秋のゆったり散歩」

秋の装いに包まれた街並みは一段と美しく、散歩をするには絶好の季節です。今回は散歩に関する本を紹介します。この秋、カメラやスケッチブックを片手に、ゆったりと秋の散歩を楽しんでみませんか。

学びの杜のいち カレード 野々市市立図書館

〒921-8845 太平寺四丁目156番地 ☎248-8099

開館時間: 午前9時~午後10時

休館日: 毎週水曜日、12/29~1/3

おはなし会

おはなし会コーナー

うさこちゃんおはなし会 (3歳以上対象)
10月2日(火) 16:00~16:30
10月13日、27日(土) 11:00~11:30

ピヨピヨおはなし会 (0・1・2歳対象)
10月2日(火)、18日(木) 10:30~11:00

ストーリーテリング (3歳以上対象)
10月20日(土) 14:30~15:00

ハロウィンのスペシャルおはなし会
10月28日(日) 10:30~11:30

上映会

音楽スタジオ
定員50人、申込不要

11月3日(土) 13:30~15:30
「人生、いろいろ」
御法川修 監督、吉行和子、富司純子ほか出演

トピックス TOPICS

地域中心交流拠点施設 施設名称・愛称が

「にぎわいの里ののいち カミーノ」に決定

平成31年4月に開館を予定する「新中央公民館・市民活動センター」の公共棟と「商業施設」の民間棟から構成される地域中心交流拠点施設の愛称について、県内の皆さんから募集をしました。応募作品は151点に及び、その中からにぎわいの拠点にふさわしく、末永く多くの市民に親しまれるような愛称を選考しました。

愛称の決定と併せて、「地域中心交流拠点施設」と仮称を定めていた複合施設の名称については、「にぎわいの里ののいち」に決定しました。

施設の基本理念である「ヒト・モノの交流によるにぎわい創出」を簡潔に表現し、中央地区整備事業における2つの大きな柱の1つとして、先に開館した「学びの杜ののいち カレード」との一体感が期待されます。施設名称および愛称については、「にぎわいの里ののいち カミーノ」とします。

愛称(最優秀賞) カミーノ (Camino)

金場康宏さん(野々市市在住)

Caminoにはスペイン語で「道」という意味がある。

地域中心交流拠点施設が位置する一帯は、古くから北国街道や白山大道の近くに位置し、交通の要衝として栄えてきた場所である。

これまでこの地を育んできた歴史・文化を大切にしながら今後、新たな道を切り拓き、ますます発展していくことを願うもの。

優秀賞(3点・3人)

- フィラード 清水あゆみさん(野々市市在住)
- スレッド 水野由里子さん(野々市市在住)
- パスレル 竹原有里乃さん(野々市市在住)



公立保育園非常勤職員募集

勤務地: 市内公立保育園
資格: 保育士資格
勤務時間: 8:30~17:15(休憩1時間)
※シフト有、7:15~19:00の間
実働7時間45分
給与: 月給161,400円
※最初の1カ月間は時間給1,029円
待遇: 賞与、通勤手当、健康保険、雇用保険
勤務日: 週休2日制
隔週月2回土曜日勤務



子育て支援課 ☎227-6076

第5回 市民公開講座 「脂肪肝」って何!?

第1部「実はアブナイ脂肪肝!？」

～あなたの肝臓 大丈夫?～

金沢赤十字病院 消化器科副部長 梶 喜一郎

第2部「今日からできる食習慣」

金沢赤十字病院 管理栄養士 壘谷 佳恵

主催/金沢赤十字病院 共催/野々市市 後援/白山ののいち医師会、FM-N1

開催日時
10月23日(火)
14:00~15:30

開催場所
野々市市役所
情報交流館「カメラ」ホール棟

入場料無料

申し込み 不要